

## 教育相談コーディネーター研修会より

11月11日（金）にピカリンホールにて、今年度3回目の研修となる「令和4年度教育相談コーディネーター研修会」を開催しました。今回は、「チーム学校づくりと教育相談コーディネーター」という研修題で創価大学：田村修一教授に講義を行っていただきました。

今回は、教育相談コーディネーターの役割と校内での位置付けについてお知らせします。

### ★研修された先生方の感想から（抜粋）

- 現場の課題解決に結び付く実践的な研修で、現在の指導や支援に生かすことができている。
- 地域の支援ネットワークづくりとして、「地域援助（資源）マップ」づくりに取り組みたい。
- 今までの研修を受けて、数名分のプロフィールシートを作成したが、他の生徒指導等で忙しくしている先生方にケース会議を開くことを言いにくい状況がある。
- 教育相談コーディネーターとして校務分掌に位置付けられてはいるが、名前だけになっているため、明確なビジョンを持って位置付けていくことが必要だと感じた。

先生方の感想から、実際の教育活動や支援に生かすことができていることが伺える反面、校務分掌に位置付けられていても役割が明確になっていないなどの理由から、コーディネーション機能を発揮できていないなどの課題も見られます。

田村修一教授は、「役割を与えるならば権限を与えることも必要だ」と話されていました。教育相談コーディネーターの役割を「見える化」し、教育相談コーディネーター中心の組織体制を構築することで、速やかな援助・支援につながっていきます。



### 組織を生かすために必要なこと

- ★ SC・SSWに学校の教育目標を示し、学校の目指す方針や学校が抱えている課題を明確に伝えましょう。
  - ★ 学校のビジョンを実効性のあるものとするため、教育相談コーディネーター、特別支援教育コーディネーター、生徒指導主事、養護教諭等の役割を明確化しておくことも必要です。小規模校の場合は、校務分掌を統合し、重点化して取り組む役割を与えることも大切です。
  - ★ 組織的に対応していくために、教職員全体の共通理解や教育相談コーディネーター、特別支援教育コーディネーターとなる教員の位置付け、SC・SSWの校内体制への位置付け、緊急支援が必要な場合の対応、活動環境の整備、校種間連携、保護者等への周知も大切になります。
- ※ 詳しくは「ふくしまサポートガイド」（令和3年1月 福島県教育委員会発行）を参考にしてください。



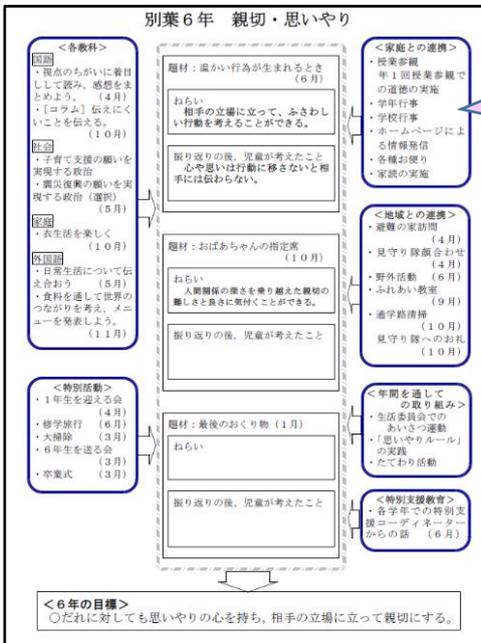
### 教育相談コーディネーターの主な役割は

- ★ 担任への援助・協働に向けた役割分担の決定
  - ★ ケース会議等におけるファシリテーター役（議長と司会者の間）
  - ★ 特別支援教育支援員やSC、SSWとの連携
- などが挙げられ、大変重要です。担当教員自らが、やりがいのある役割であると意味付けられるように役割と権限を明確にしていくことが求められます。

生徒指導委員会やケース会議にSCが参加するよう働きかけていくことも重要です。

# 道徳教育地区別推進協議会

10月31日(月)に南会津町御蔵入交流館及び田島第二小学校にて、「令和4年度道徳教育地区別推進協議会」を開催しました。午前中は、義務教育課：肥沼志帆指導主事より「本県の道徳教育」についての講義があり、「自己を見つめる授業づくりが本県の課題である」との話がありました。また、研究推進校である田島第二小学校より研究実践内容について、昨年度の研究推進校である下郷中学校より昨年度の成果と課題を踏まえた今年度の実践について報告がありました。午後は、田島第二小学校6年の道徳科の公開授業研究会を行い、その後、「授業のねらい」、「道徳性の様相を育てるための学習」、「児童に対する教師の対応」の3つの柱で事後研究会を行いました。



**重点内容項目に特化した「道徳の別業」**

田島第二小学校では、児童の実態や教師・家庭・地域の願いから重点内容項目を「親切・思いやり」に定め、各教育活動と道徳科の学習との関連やねらいを明確にし、全教職員が同じ視点をもって子供たちを育てていくことができるような「道徳の別業」を作成しています。

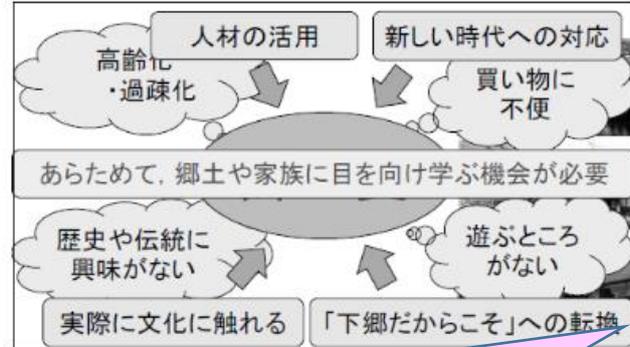


<心情円を見比べて>



<友達との違いを感じて>

## <下郷中学校の発表資料より>



**昨年度の課題を焦点化し改善する**

下郷中学校では、昨年度、「郷土愛」を育む実践研究を行いました。生徒の郷土愛に関する心情や行動の変容をさらに促していく必要があると分析し、今年度は郷土や家族に目を向けるための体験的な学習を重視した教育活動を展開しています。

## <活発な事後研究会>



**参会された先生方の感想より**

- 研究の視点を明確にした授業と事後研究会で、子供の姿を基に深い話し合いをすることができた。
- 人間理解から他者理解、価値理解へとつなげる展開や様々な親切があることに気付く中で、自己の生き方を見つめる授業の在り方を学ばせていただいた。

